

Tetramorium immigrans

Santschi, 1927

北米の都市でよく見かけるpavement antです。小さくて丈夫、成長も速く、春には歩道で大規模な戦いを繰り広げます。



写真： Jake Nitta (froggy143), CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
22-28 °C
巣の中



巣の湿度
40-60 %
巣の中



休眠
5-10 °C
11月 - 2月



結婚飛行
5月 - 7月
穏やかな天気、湿度が高い日



働きアリ
2.5-4 mm
どれも同じ大きさ



女王
7-8 mm
女王は1匹

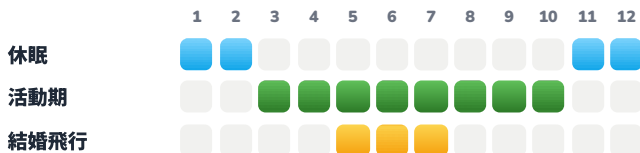


コロニーの規模
働きアリ10,000匹規模
成長速度：速い



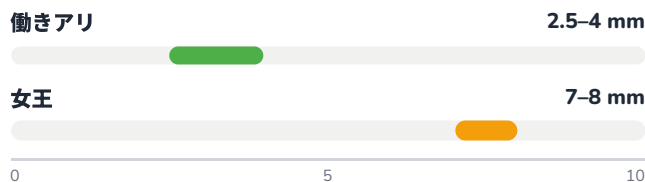
脱走リスク
高い
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

昆虫

砂糖

種子

おすすめの巣

1. 試験管セットアップ
2. アクリル製の巣
3. Ytongの巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 種子を貯めるので、餌やりを忘れても問題ありません
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ コロニーが巨大になるため、広げられる余裕が必要です
- ⚠ 働きアリが刺すことがあります

飼育者からのメモ

ヒント

巣には湿った端と乾いた端をつくり、温めるのは片側だけにしましょう。飼育者の報告では、働きアリは卵と幼虫を湿った部分に置き、蛹と種子はより乾いた部分に移します。試験管では、水から遠い側の端だけを温めてください。水を温めると、試験管が水浸しになることがあるからです。

注意

働きアリはとても小さく、あらゆるすき間を試します。ある飼育者は、Tetramoriumがオリーブオイルのバリアを食べるのを見ましたし、別の飼育者のところでは、働きアリが小さなすき間を抜けて隣のコロニーのセットアップに入り込み、すぐに殺されました。ぴったり閉まる蓋を使い、換気穴の上に細かいスチールメッシュを接着し、Fluonのような2つ目のバリアも加えましょう。